

(抄訳)

AIG がハートフォードからウッドベリー・ファイナンシャル・サービスを取得

ニューヨーク、2012年12月3日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）は、本日、AIGの生命保険およびリタイアメント事業であるAIGライフ・アンド・リタイアメントがハートフォードからウッドベリー・ファイナンシャル・サービス・インクを取得したことを発表しました。両社は、当該取得について、2012年7月31日に最終的な合意を締結しています。

ウッドベリー・ファイナンシャル・サービスは、米国における最大級の独立したブローカー・ディーラー・ネットワークの一つであるAIGライフ・アンド・リタイアメントのアドバイザー・グループの一員となりました。エフエスシー・セキュリティーズ・コーポレーション、ロイヤル・アライアンス・アソシエイツおよびセージ・ポイント・ファイナンシャルを擁するアドバイザー・グループのネットワークに、ウッドベリー・ファイナンシャルは、約1,400人のアドバイザーおよび250億ドルの運用資産を追加します。ウッドベリー・ファイナンシャルが追加されることにより、アドバイザー・グループは6,000人を超える独立金融アドバイザー、800人を超える本社従業員および1,250億ドルを超える運用資産を有することとなります。

AIGライフ・アンド・リタイアメントのプレジデント兼CEOのジェイ・ウイントロブ氏は以下のように述べました。

「既に独立したブローカー・ディーラー団体の中でも指導的な立場にあるアドバイザー・グループは、補完的なビジネス・モデルを有するウッドベリー・ファイナンシャル・サービスの取得によって強化されます。ウッドベリー・ファイナンシャルの獲得は我々にとって重要であり、独立したブローカー・ディーラー業界および独立金融アドバイザー業界への我々の長期的なコミットメントを確約するものです。」

ウッドベリー・ファイナンシャルのプレジデント兼CEOであるパトリック・マッケヴォイ氏は、以下のように述べました。

「当社のアドバイザーは、アドバイザー・グループに加わることに喜びを思っております。我々は、今回の提携により当社のアドバイザーが、実践的なサービスから業界有数の技術や成長へのまたとない機会まで、大きな恩恵を受けると信じております。」

アドバイザー・グループのプレジデント兼CEOであるラリー・ロス氏は、ネットワークに亘る成長について、以下の通り強調しました。

「ウッドベリー・ファイナンシャルが我々アドバイザー・グループに加わることに大変喜びを思っております。質の高いアドバイザーに対するウッドベリー・ファイナンシャルの優れた価値ある提案に焦点を当てることによって、当グループは成長することができると確信しています。今年、各ブローカー・ディーラーは多数のアドバイザーを採用しましたが、我々は引き続き、より多くの才能あふれる人材をアドバイザー・グループに迎え入れることを期待しております。」

ウッドベリー・ファイナンシャル・サービスは、ミネソタ州のオークデールに所在し、200名を超える本社従業員および米国各地に1,400人近くの独立代理人を有します。ウッドベリー・ファイナンシャルの前身はモンタナ・ライフであり、その歴史は1910年までに遡ります。

本プレスリリースには、1995年私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）の意義の範囲内で「将来の見通しに関する記述

（“forward-looking statements”）」が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は過去の事実ではなく、将来の事象に関する AIG の見解のみを表しています。その多くは性質上、本質的に不確実なものであり AIG に制御可能な範疇を超えています。連邦証券法により要求される重要な情報を開示する AIG の継続的な義務を除き、AIG は、たとえ新たな情報、将来の事象またはその他の事由が生じても、書面または口頭を問わず、その見解、目標、予測およびその他の記述を更新または変更する義務を負わず、また、そのような義務を明確に否認します。これらの将来の見通しに関する記述が現在の見込みと（場合によっては大きく）異なる要因には、米国証券取引委員会に対する AIG の提出書類に記述される要因が含まれています。

#